

126.20

平成15年6月30日以前の出願の際
願書に添付した明細書の補正に係る手続
補正書の作成例（特・実）

1. 明細書に記載した事項を補正するときは、次に掲げる単位で補正する。
 - (1) 明細書の全文
 - (2) 「【発明の名称】」、「【特許請求の範囲】」、「【発明の詳な説明】」、「【図面の簡単な説明】」の欄
 - (3) 「【特許請求の範囲】」の欄の「【請求項○】」
 - (4) 「【発明の詳細な説明】」の欄の段落番号「【○○○○】」
 - (5) 「【図面の簡単な説明】」の「【図○】」（図番号）又は「【符号の説明】」
2. 明細書に記載した事項の補正に係る手続補正書の作成例
 - (1) 明細書を全文補正する手続補正書の作成例 P 2
 - (2) 欄単位で補正する手続補正書の作成例 P 3～4
 - ア. 「【発明の名称】」の欄を補正する場合
 - イ. 「【特許請求の範囲】」の欄を全文補正する場合
 - ウ. 「【発明の詳細な説明】」の欄を全文補正する場合
 - エ. 「【図面の簡単な説明】」の欄を全文補正する場合
 - (3) 「【特許請求の範囲】」の欄の「【請求項○】」単位で補正する手続補正書の作成例 P 5
 - (4) 「【発明の詳細な説明】」の欄の段落番号「【○○○○】」単位で補正する手続補正書の作成例 P 5～6
 - ア. 「【発明の詳細な説明】」の欄のうちの段落番号「【○○○○】」の記載内容を補正する場合
 - イ. 「【発明の詳細な説明】」の欄のうちの段落番号「【○○○○】」の記載内容を削除する場合
 - (5) 「【図面の簡単な説明】」の欄の図の説明を「【図○】」単位（図番号単位）で補正する手続補正書の作成例 P 6～P 9
 - ア. 「【図面の簡単な説明】」の欄のうちの図の説明「【図○】」を補正する場合
 - イ. 「【図面の簡単な説明】」の欄へ新たな図の説明を追加する場合
 - ウ. 「【図面の簡単な説明】」の欄の最終図の説明を削除する場合
 - エ. 「【図面の簡単な説明】」の欄の「【符号の説明】」を補正する場合

3. 明細書に記載した事項の補正に係る手続補正書の作成例
(1) 明細書を全文補正する手続補正書の作成例

【書類名】	手続補正書
(略)	
【手続補正1】	
【補正対象書類名】	明細書
【補正対象項目名】	全文
【補正方法】	変更
【補正の内容】	
【書類名】	明細書
【発明の名称】
【特許請求の範囲】	
【請求項1】
・ (略)	
【請求項○】
【発明の詳細な説明】	
【0001】
・ (略)	
【○○○○】
【図面の簡単な説明】	
【図1】

次 頁

(略)
【図○】
【符号の説明】
1
・ (略)
○

(注) 明細書を補正した場合、補正により変更した個所に下線を引かなければなりません(ただし、「【」、「】」並びに「【」、「】」を用いた見出し、段落番号、図番等は除きます。)

(2) 欄単位で補正する手続補正書の作成例

ア. 「【発明の名称】」の欄を補正する場合

【書類名】	手続補正書	
(略)		
【手続補正1】		
【補正対象書類名】	明細書	
【補正対象項目名】	発明の名称	
【補正方法】	変更	注
【補正の内容】		
【発明の名称】	・・・・・・・・・・・・・・・・	

(注) 願書に添付した明細書の「【発明の名称】」の欄に発明の名称を記載していない場合は「追加」とします。

イ. 「【特許請求の範囲】」の欄を全文補正する場合

【書類名】	手続補正書
(略)	
【手続補正1】	
【補正対象書類名】	明細書
【補正対象項目名】	特許請求の範囲
【補正方法】	変更
【補正の内容】	
【特許請求の範囲】	
【請求項1】	・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・	
・ (略)	
・・・・・・・・・・・・・・・・	
【請求項〇】	・・・・・・・・・・・・・・・・

ウ. 「【発明の詳細な説明】」の欄を全文補正する場合

【書類名】	手続補正書
(略)	
【手続補正1】	
【補正対象書類名】	明細書
【補正対象項目名】	発明の詳細な説明
【補正方法】	変更
【補正の内容】	
【発明の詳細な説明】	
【0001】
.....
(略)	
【0000】	

エ. 「【図面の簡単な説明】」の欄を全文補正する場合

【書類名】	手続補正書
(略)	
【手続補正1】	
【補正対象書類名】	明細書
【補正対象項目名】	図面の簡単な説明
【補正方法】	変更
【補正の内容】	
【図面の簡単な説明】	
【図1】
(略)	
【図〇】	
【符号の説明】	
1
・	(略)
〇

注

(注) 願書に添付した明細書の「【図面の簡単な説明】」の欄に図の説明を記載していない場合は「追加」とします。

(3) 「【特許請求の範囲】」の欄の「【請求項〇】」単位で補正する手続補正書の作成例

【書類名】	手続補正書
(略)	
【手続補正1】	
【補正対象書類名】	明細書
【補正対象項目名】	請求項1
【補正方法】	変更
【補正の内容】	
【請求項1】

請求項の数を増加又は減少する補正をするとき又は拒絶をすべき旨の最初の査定の謄本の送達があった後の補正をするときは、2.(2)イ.で記載した「【特許請求の範囲】」の欄を全文補正する方式で補正します。

(4) 「【発明の詳細な説明】」の欄の段落番号「【〇〇〇〇】」単位で補正する手続補正書の作成例

ア. 「【発明の詳細な説明】」の欄のうちの段落番号「【〇〇〇〇】」の記載内容を補正する場合

【書類名】	手続補正書
(略)	
【手続補正1】	
【補正対象書類名】	明細書
【補正対象項目名】	0004
【補正方法】	変更
【補正の内容】	
【0004】

イ. 「【発明の詳細な説明】」の欄のうちの段落番号「【〇〇〇〇】」の記載内容を削除する場合

【書類名】	手続補正書
(略)	
【手続補正1】	
【補正対象書類名】	明細書
【補正対象項目名】	0005
【補正方法】	削除

発明の詳細な説明に記載した段落番号の数を増加又は減少する補正をするときは、2.(2)ウ.で記載した「【発明の詳細な説明】」の欄を全文補正する方式で補正します。

(5) 「【図面の簡単な説明】」の欄の図の説明を「【図〇】」単位(図番号単位)で補正する手続補正書の作成例

ア. 「【図面の簡単な説明】」の欄のうちの図の説明「【図〇】」を補正する場合

【書類名】	手続補正書
(略)	
【手続補正1】	
【補正対象書類名】	明細書
【補正対象項目名】	図1
【補正方法】	変更
【補正の内容】	
【図1】	
.....	

イ. 「【図面の簡単な説明】」の欄へ新たな図の説明を追加する場合（「【図面の簡単な説明】」の欄の最終図番号の後に新たな図番号を追加する方式で補正します。）

補正内容：「【図面の簡単な説明】」の欄の図の説明「【図1】」から「【図3】」に「【図4】」を追加する補正

【書類名】	手続補正書
(略)	
【手続補正1】	
【補正対象書類名】	明細書
【補正対象項目名】	図4
【補正方法】	追加
【補正の内容】	
【図4】

補正内容：「【図面の簡単な説明】」の欄に図の説明「【図1】」から「【図3】」まで記載されている場合において、「【図2】」、「【図3】」の間に新たな図の説明を追加する補正（図の説明「【図3】」を追加する新たな図の説明に変更し、もとの「【図3】」の図の説明を図の説明「【図4】」として追加します。）

【書類名】	手続補正書
(略)	
【手続補正1】	
【補正対象書類名】	明細書
【補正対象項目名】	図3
【補正方法】	変更
【補正の内容】	
【図3】
【手続補正2】	
【補正対象書類名】	明細書
【補正対象項目名】	図4
【補正方法】	追加
【補正の内容】	
【図4】

上記以外の方法で新たな図の説明「【図〇】」を追加する補正をするときは、2. (2) エ. で記載した「【図面の簡単な説明】」の欄を全文補正する方式で補正します。

ウ. 「【図面の簡単な説明】」の欄の最終図の説明を削除する場合（「【図面の簡単な説明】」の欄のうちの最終図番号を削除する方式で補正します。）
補正内容：「【図面の簡単な説明】」の欄の図の説明「【図1】」から「【図3】」のうちの「【図3】」を削除する補正

【書類名】	手続補正書
	(略)
【手続補正1】	
【補正対象書類名】	明細書
【補正対象項目名】	図3
【補正方法】	削除

補正内容：「【図面の簡単な説明】」の欄の図の説明「【図1】」から「【図3】」のうちの「【図2】」の図の説明を削除する補正（図の説明「【図2】」をもとの「【図3】」の図の説明に変更し、「【図3】」を削除します。）

【書類名】	手続補正書
	(略)
【手続補正1】	
【補正対象書類名】	明細書
【補正対象項目名】	図2
【補正方法】	変更
【補正の内容】	【図2】
【手続補正2】	
【補正対象書類名】	明細書
【補正対象項目名】	図3
【補正方法】	削除

上記以外の方法で図の説明を削除する補正をするときは2.(2)エ.で記載した「【図面の簡単な説明】」の欄を全文補正する方式で補正します。

エ. 「【図面の簡単な説明】」の欄の「【符号の説明】」を補正する場合

【書類名】	手続補正書
(略)	
【手続補正1】	
【補正対象書類名】	明細書
【補正対象項目名】	符号の説明
【補正方法】	変更
【補正の内容】	
【符号の説明】	

注

(注) 願書に添付した明細書の「【図面の簡単な説明】」の欄に符号の説明を記載していない場合は「追加」とします。

(改訂平成23・11)